

立川青年会議所OBからのメッセージ

「このまちで子どもを育てたい、このまちで幸せに暮らしたい」と思えるまち、それは社会基盤が整備され、住民同士の交流がある賑わいのあるまちです。経済発展の反面、他人と関わりが希薄でも不自由なく生活できる今日では、自ら声をかけ、活動に参加しなければ、「絆」は生まれません。JCの皆さんの積極的な行動、その経験が、人同士の潤滑油、立川のまちの活性化に繋がることを多くに期待しています。



立川市長
清水 庄平
(1985年卒業)

立川青年会議所メンバーからのメッセージ



岡田 渉
2009年度入会

私は入会して、この厳しい世の中でこんなにも多くの人たちが、まちやひとそして仲間を想う気概に驚きました。またJCはまちづくりを通して自分自身も成長できるというのが大きなメリットだと感じています。私も会の最年少という事もあり先輩方に可愛がって頂き、自身の日々の成長を実感しています。こんな厳しい時代だからこそあえて視点を変え、遠回りのように実は近道だったりするのとも感じています。ご覧になられた皆様、是非我々とJCライフを楽しみましょう。

青年会議所には、仕事の先輩に紹介をされ入会をしました。年齢を重ねると人と知り合う機会が薄れていく中で、100名を超えるメンバーや400名を超えるOB。また地域諸団体や地域の方達と交流ができました。そこには必ず築きや学びがあり、入会前とでは大きく日々の生活が充実する様になりました。是非この機会を一人でも多くの方に経験してもらいたいと感じています。



関根 渉
2010年度入会

立川青年会議所についてQ&A

About JC Q&A

Q1 JCの魅力ってなんですか？

JCという組織が様々な機会とチャンスを与えてくれます。それを自ら掴みに行くことで自身の成長に繋がります。地域や経営に携わる者として、また人間として多くの財産を積み上げられる場所です。

Q2 時間をあまり費やす事ができないのですが入会できますか？

時間をつくろうという“気持ち”があれば問題ありません。それぞれが家庭と仕事を大切にしながら工夫して参加をしています。自分に時間が無い時は必ず他メンバーが助けてくれます。大切なことは、頑張って参加できるよう努める前向きな姿勢です。

Q3 どんな人が在籍していますか？

業種は多岐に渡り、正に人材の宝庫です。企業出向という形で所属している会社員、弁護士、社会保険労務士、IT関連企業、印刷業、歯科医、サービス業、建築業まで、個性豊かなメンバーが在籍しています。

歴代理事長からの設立当初の想い

40年前の1971年に、ニクソン米国大統領はドルの金兌換停止を突如発表、外為市場にはドル売りが殺到、東証ダウも大暴落、変動相場制に移行した。その前年、1ドルが360円の時代に、立川JCでは会員17名で17日間のアメリカ研修視察旅行を初めて実施、ドル持出額の制限下、たおやかなアメリカ文化に接し、尖端的流通市場を見学し大きな土産を持ち帰った。金本位から放たれた為替市場の危機と混乱は今日まで続いている。困難な時代だからこそ、若者のエネルギーを集約しさらなる発展に導いてください、期待しています。



立川商工会議所 会頭
萬田 貴久
(7代理事長)

立川青年会議所歴代理事長

初代 故 中村 正久	第25代 岡部 直士	㈱ヤマフ 代表取締役社長
第2代 故 森下 博	第26代 須崎 八朗	立川市議会議員
第3代 故 片海 晶良	第27代 荒生 信行	ランドスケープ 代表
第4代 故 下野 一男	第28代 岩崎 春伸	岩崎不動産㈱ 代表取締役
第5代 故 高田 勝敏	第29代 坂村 英之	社会福祉法人 聖愛学園 園長
第6代 岩崎 泉	第30代 加藤 積一	ふじようちえん 園長
第7代 萬田 貴久	第31代 渡辺 洋司	武蔵村山正徳会 サンシャインホーム
第8代 藤澤 弘志	第32代 草野 孝毅	かん・きよう㈱ 取締役
第9代 五十嵐芳治	第33代 大久保清隆	㈱大久保組 代表取締役
第10代 中村 克久	第34代 岩下 光明	岩下商事㈱ 代表取締役
第11代 矢島 功	第35代 桂 耕史	㈱カンテック 代表取締役
第12代 梅田 俊一	第36代 中山 賢一	㈱ライズデザイン 代表取締役
第13代 杉山 次男	第37代 栗原 一	㈱朝雅 専務取締役
第14代 故 山上 公隆	第38代 小松 剛	(有)ロイアルティボディ 代表取締役
第15代 小林 日文	第39代 木村 辰幸	社会保険労務士法人 木村事務所 代表社員 特定社会保険労務士
第16代 岩崎 喜功	第40代 田中 太	㈱ムサシ田中企画 代表取締役
第17代 故 尾崎 豊	第41代 矢澤 俊一	YAZAWA LUMBER㈱ 代表取締役社長
第18代 加藤 精一	第42代 尾上 研児	㈱ティーオーデリバー 代表取締役
第19代 浦野 勇	第43代 渡辺 博昭	渡辺電業㈱ 取締役社長
第20代 故 中川 務	第44代 端 晶弘	㈱ハタ技術研究社 代表取締役社長
第21代 鈴木 茂	第45代 宮崎 昭人	㈱匠技建 代表取締役
第22代 中山 賢二	第46代 金子 幹広	社会福祉法人 聖愛学園 西国立保育園 副園長
第23代 井山 光一	第47代 松浦 孝治	松浦商事㈱ 専務取締役
第24代 小林 和雄	第48代 矢澤 貴光	矢澤電気㈱ 代表取締役

女性メンバーからのメッセージ

青年会議所は世界組織ですが、日本と韓国を除く国々での女性の割合は60%以上です。逆に日本はたったの5%。立川青年会議所も実際女性メンバーは少ないですが、女性ならではの視点や気配り、考え方は地域社会での活動にとっても必要だと日々感じています。私も入会して4年が経ち、多くの仲間に出会いかけがえの無い時間を過ごしてきました。女性も積極的に活動ができ、自分の能力と可能性を高められる場です。皆様の入会をお待ちしております。



総務委員会 委員長
中川 夕香



東京ブロック協議会
笑顔の花咲く復興防災
委員会 委員長
野寄 悠

私は家庭を持つ傍ら会社でも代表を務めさせていただきながら青年会議所運動に参加させていただいています。男性が多い団体ですが、社会を見る女性ならではの目線を大事に聞き入れている。それを事業に反映させてくれています。また、様々な機会を与えてくれる場です。ご覧になられた女性の皆さん、一緒に活動しましょう！

★女性会員も募集しています★

世界的な視野に立てば、多くの国の青年会議所において、女性会員が過半数を占めているというのが現状となってきています。立川青年会議所においてはさらなる女性会員の拡大を実現させなければならぬと考えております。

青年会議所は、メンバー同士がお互いに切磋琢磨しあい、様々な経験と啓発を受ける機会のある団体です。自分の能力を高めたい、信頼できる仲間と巡り会いたい、私たちのまちを良くしていきたい、そんな思いに男女の違いは関係ありません。男女両方の視点があつてこそ地域社会への奉仕活動も活きたものになります。

男の人の中に入って大丈夫かなと思われる方が多いと思いますが、何も心配はいりません。青年会議所ではメンバー同士が気軽に話せる雰囲気があり、皆がサポートし合っています。たくさんの経営者が集まり、学べる出会いの場がここにはあります。

確かに男性の多い青年会議所ですが、女性だからといって躊躇せずとにかく一度活動に参加してみませんか？性別関係なく、きっとなにか得る事があると思います。

■入会資格

立川市・国立市・武蔵村山市及び近郊に居住または勤務している満20歳から38歳未満の方。人種、国籍、性別、職業、宗教、思想の別なく、入会できます。

■入会申し込み

入会申込書に必要事項を記入の上、事務局にご提出下さい。
ホームページからでもダウンロードできます。<http://www.tachikawajc.or.jp>

ここにしかない出会いと経験がある



社団法人立川青年会議所 ご案内

〒190-0012 東京都立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12F
TEL:042-527-1001 FAX:042-527-6600
E-mail: info@tachikawajc.or.jp <http://www.tachikawajc.or.jp>



2012年度スローガン

The Slogan in 2012

和敬清寂

気高く 凛然とした青年であれ

あいさつ

本案内をお手に取り、ご一読戴きました事を嬉しく思うとともに、このご縁が互いにとり良きものとなりますことを心より祈念致します。

本年度のスローガンにあります「和敬清寂」には、人と人との間に和を図り、他を尊重し敬意を払い相対する。そして、心清らかに物事の本質を見つめ真に正しきことは何かを捉え、如何なることにも動じずに常に落ち着き払った心具备え行動をとる人でありたい、そんな意味が込められております。元は茶道の精神である四字熟語をリーダーが持つべきものとして重ね合わせ、次代を担う我々青年世代がこの精神を心に宿し、日本人としての誇りと自信を持ち気高く凛然とした行動を起こしていく、これこそが私たちの目指す「明るい豊かな社会」を実現させるためには必要不可欠であり、現代の日本に失われかけているものでもあろうと考えております。

このような混沌とした時代に必要なのは誇りと自信に満ち溢れた青年であり、義務感でもなく使命感でもない、ただ、家族や子どもたちに明るく希望に満ちた心豊かな社会のなかで生活してもらいたい。その為に成すべき事を成す。そんな志をもって活動しているのが青年会議所メンバーであります。

青年会議所に入会すると、限りある人生の中で又と無い機会や出会いが次々と廻ってきます。まずは自身のもつ可能性を見つめなおす為に、この新しい機会を捉えてみてください。それこそが充実した人生と子どもたちに安心して渡せる心豊かな、そして強い絆で結ばれた地域社会を創りあげる第一歩となるはずで。私たちとともに、他に誇れる地域社会の可能性を探し出し、先頭に立って新たな時代へと導いて参りましょう。

この困難な時代を乗り越え、明るく豊かな社会を実現させるための意欲と情熱をもつ皆様が新たな一歩を踏み出すことをメンバー一同、心よりお待ちしております。



社団法人 立川青年会議所
第48代理事長 矢澤 貴光
Takamitsu Yazawa

青年会議所(JC)とは?

What is JC?

【明るい豊かな社会】の実現を同じ理想とし「奉仕」「修練」「友情」と言う三信条のもと、次代の担い手として自覚と責任感を持った20歳から40歳までの「青年」で構成される団体です。国籍・人種・性別・職業・宗教の区別無く、個人の自由な意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会することが出来ます。よく青年会議所を「JC」と呼びますが、「JC」とはjunior chamber(若い集合体)の略称です。

立川青年会議所とは?

What is Tachikawa JC?

立川青年会議所は1965年(昭和40年)に全国で300番目、東京では2番目に創立いたしました。立川青年会議所は立川・国立・武蔵村山の3市を活動エリアとして、まちづくり・ひとづくりの運動を展開しております。役員・組織・事業などは「組織の活性化と事業の斬新性」を保持するために、1年毎の単年度制の運営を行っています。メンバーが配属される委員会では、「例会」及び「事業」の開催を企画し、地域の諸問題から世界の問題まで幅広く調査・研究し、常に市民運動のリーダーを目指しています。

立川青年会議所の沿革

History of Tachikawa JC

- | | |
|-------|---|
| 1965年 | 立川・昭島・国立・大和・村山の2市3町(当時)87名の有志により立川青年会議所設立 |
| 1967年 | 小学校に「黄色いランドセルカバー」寄贈 |
| 1970年 | アメリカ・サンバーナディノ JC と姉妹締結 |
| 1971年 | 韓国・温陽 JC と姉妹締結 |
| 1972年 | 社団法人許可 |
| 1980年 | 5000人の市民意識アンケート調査の実施 |
| 1984年 | 多摩メトロポリス祭を開催 |
| 1997年 | キッズフェスティバルの開催(子ども達の感動体験事業) |
| 2004年 | 創立40周年記念フェスタ開催
「ゆめ基金」設立 花いっぱい運動 |
| 2005年 | むさしむらやまグリーンフェスタを開催 |
| 2007年 | ふれあいフェスタ2007の開催
キャンドルナイト2007の開催 |
| 2008年 | 第21回JCIアカデミー in 立川の開催 |
| 2010年 | 2010年代運動指針を策定 |
| 2011年 | RIDE and CHALLENGE2011の開催
Youth Conference in Tachikawa2011の開催 |

立川青年会議所の活動

Activity of Tachikawa JC

国立市地域事業参画

国立市のお正月恒例事業であります「塞の神どんど焼き」に参画をしています。地域の方々とともにその年の無病息災を祈願します。



【経営者開発】研修・セミナー

地域と共に交流を図りながらリーダーシップを育み、そのスキルを地域に還元できる人材を育成し、地域貢献の輪を広げていくために開催しています。



【行政】公開討論会

地域主権型社会の形成に向けた運動展開として、市民の自立的な意思形成の一助となることを目的とし、各種選挙に伴う公開討論会を開催しております。



wellvoice

【地域社会】市民討議会

地域や社会が抱える問題について、より多く、幅広く市民のみなさんご意見を伺う市民参画の方法として「市民討議会」を開催しております。「市民討議会」とは無作為に選ばれた市民や地域の住民がテーマごとに専門家などの意見を聞いた上で討議を行い、結論を導き、メディアなどを通じて発表していくものです。

武蔵村山市地域事業参画

活力にあふれた賑わいあるまちを目指し市と市民が一体となって盛り上げ活性化させようとする「村山デエダラまつり」にも参画をしています。



【青少年】わんぱく相撲

東京青年会議所から始まったわんぱく相撲。立川青年会議所も23回の歴史を数え、立川場所や武蔵村山場所の開催も行っています。日本の国技である相撲を通じて心身の鍛錬と健康の増進を図り、勝つ喜びや負ける事の悔しさ、人を思いやる心を養い成長する事を目的として開催しています。



【教育】教育に関わる

「シビックティーチャーバンク」とは地域の大人たちが積極的に教育に関わる仕組みです。登録いただいた市民の皆様が先生になり、仕事の話・人生経験・競争体験などを子ども達に伝えていただきます。写真は小・中学校の総合学習の時間へ派遣されたゲストティーチャーの授業の様子です。



【国際】JCI アカデミー

国際化推進事業として「第21回JCIアカデミー in 立川」を開催。世界各国の青年会議所メンバーと地域の皆様がお集まりいただき、様々なプログラムを通じて国際交流を体験しました。



【青少年】

RIDE and CHALLENGE 2011
小学校5・6年生13名を連れての富士山一周、走行距離120km走破を目指し挑戦しました。「自転車」をツールとして、あきらめない気持ち、すなわち「たくましく生きる力」を養いました。

【青少年国際交流】Youth Conference in TACHIKAWA 2011

まちぐるみの多文化共生の意識を育てていくために、小学生を対象に、自国を改めて感じること、世界に興味や関心を持つこと出来る体験型事業を行いました。各々の国の文化や考え方を相互理解について考えました。

